

宅地造成許可申請書添付書類一覧表

| 図書の名称       | 縮尺                | 表示事項  | 備考  |
|-------------|-------------------|---|---|
| 地形図         | 1/<br>2,500<br>以上 | (1) 方位<br>(2) 施行地区（赤線でもって囲む）<br>(3) 道路、河川等の公共施設、学校、人家、その他目標となるもの  |   |
| 現況図         | 1/<br>200<br>以上   | (1) 方位<br>(2) 施行区域の境界（赤線）、境界線名<br>(3) 施行区域内および周辺の道路、河川、水路その他公共の用に供する施設<br>(4) 施行区域内および周辺、境界附近隣地の建築物又は構造物、地形<br>(5) 標高差1mの等高線または各地盤高の表示  | 構造物とは擁壁、石積、塀、門、車庫、階段等                                     |
| 公図<br>又は地籍図 | —                 | (1) 方位、縮尺<br>(2) 施行地区の境界（赤色）<br>(3) 施行地区および周辺の町名・地番<br>(4) 公図または地籍図等を保管する官庁名等<br>(5) 公図または地籍図等を写した年月日<br>(6) 写しを添付する場合は原本証明のこと  | 公図（法務局）または地籍図（市役所）の写し<br>区画整理中のものは区画整理事業のブロック図            |
| 計画平面図       | 1/<br>200<br>以上   | (1) 方位<br>(2) 施行区域の境界（赤線）、境界線名<br>(3) 切土、盛土をする土地の部分の着色（切土は茶色、盛土は緑色）<br>(4) のりまたは擁壁その他の構造物の位置、種類、高さおよび延長（許可を要する擁壁は赤色に着色）<br>(5) 道路の幅員、延長、交差点計画高<br>(6) 宅地の計画高<br>(7) BMの位置と高さおよび縦横断面線位置とその記号<br>(8) 隣地に影響を与える場合は隣地所有者と協議している旨を記入 | 許可を要する擁壁のベースラインを点線で記入すること。<br>コーナー補強部分を明記すること。            |
| 排水計画<br>平面図 | 1/<br>200<br>以上   | (1) 方位<br>(2) 施行区域の境界（赤線）<br>(3) 排水施設の位置、種類、材質、形状、内法寸法、勾配、延長、流水方向、吐口の位置<br>(4) 放流先河川または水路の名称および断面寸法<br>(5) 集水系統ブロック記号、流水方向<br>(6) 地表雨水集水柵は格子蓋<br>(7) 雨水が直接敷地外に流出しない計画とする  | 宅地面積が500㎡以上の場合、雨水排水計算書が必要です。<br>（経路は青色で着色）                |
| 宅地断面図       | 1/<br>100<br>以上   | (1) 測点番号<br>(2) 現地盤高と計画地盤高<br>(3) 施行区域境界線（赤線）<br>(4) のりまたは擁壁その他の構造物の種類、見かけ高さおよび根入れ寸法（許可を要する擁壁には赤色に着色）<br>(5) 切土、盛土部分の着色（切土は茶色、盛土は緑色）  | 現況地形線は細く、計画線は太く表示する。<br>断面箇所は形状の変化する箇所。<br>影響する隣地形状も表示する。 |
| 求積図         | 1/<br>500<br>以上   | 地形図又は計画平面図を利用しても良い<br>(1) 施行区域の面積（三斜法等）<br>(2) 切土・盛土を行う土地の面積（三斜法等）<br>(3) 求積計算書および土量計算書   |   |

|            |                            |  |  |
|------------|----------------------------|--|--|
| <p>構造図</p> | <p>1/20<br/>～<br/>1/50</p> | <p>(1) 排水施設構造物<br/>ア 開渠、暗渠、堰堤、人孔、集水枡、吐口等（枡等は、泥溜め深さを150mm以上確保）<br/>イ 形状と寸法<br/>ウ 使用材料と品質</p> <p>(2) 練石積擁壁構造物<br/>ア のり勾配と高さ、根入れ深さ<br/>イ 石材の品質と寸法<br/>ウ 裏込コンクリートの品質と寸法（天端、地盤面および基礎位置）<br/>エ 基礎構造の種類と寸法<br/>オ 透水層の位置と寸法</p> <p>(3) コンクリート擁壁構造物<br/>ア 形状、寸法および根入れ深さ<br/>イ 使用コンクリート品質<br/>ウ 水抜穴の位置、材質および寸法<br/>エ 透水層の位置、構造および寸法<br/>オ 伸縮目地の位置と材質<br/>カ 基礎構造の種類と寸法<br/>キ 天端より土羽を打つ場合はその勾配と高さ</p> <p>(4) のり面保護<br/>ア のり面の勾配と高さ<br/>イ 保護の種類と構造等</p> |  <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋コンクリート擁壁構造物の場合、鉄筋寸法とかぶり寸法、および配筋図</li> <li>・コーナー補強図</li> <li>・透水マットを使用する場合は認定書の写し添付</li> <li>・裏込め砕石はC-40を使用のこと</li> </ul> |
| <p>展開図</p> | <p>1/100<br/>以上</p>        | <p>擁壁の全高、見かけ高さ、根入れ寸法、延長および種類、前面背面地盤高<br/>水抜穴の位置は内径75mm以上、3㎡に1箇所以上、原則下方に千鳥配置<br/>コーナー補強位置、伸縮目地位置<br/>のり面の高さ</p>   | <p>許可を要する擁壁部分を赤線で囲む。</p>   |

※ 申請書は正本・副本各1部提出のこと。

図面等には、名称および番号を付し、A4版に折り、左綴じとしてください。

地耐力が150kN/m<sup>2</sup>（15tf/m<sup>2</sup>）を超える場合は地盤調査による値を用いてください。